

# 鳥飼まちづくりグラウンドデザイン説明会 ご意見一覧

8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見

令和4年10月16日



摂津市

【8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見一覧】		
こんな将来にしたい	そのために必要なこと	配慮事項（懸念事項）
地震、津波対応。 安心安全にしてほしい。	景観が変わってしまうのかもしれないが、高台を使っていければと思う。 建て替えの際に耐震や、3階以上の建物にする補助があっても良いのでは？（3階では低いのかな？）	
安心して住める街（災害等）		
孫の将来のために。 河川防災ステーションの様な高台を構築し、鳥飼地区の小中学校を1つに統合して、災害避難所も兼ねる中高一貫校を創設する。	新設される中高一貫校の場所によっては、遠距離通学区域もあるので、鳥飼地区を網羅する自動運転バスを運行する。	土地と事業費の捻出。
水害で沈まないまち	市民が家を建て替える時や、他府県からの土地購入の際の高台にするための補助金	予算の確保
子供が育てやすい地域	企業に委託（誘致）する。（遊び場など） 何度も来たくなるような街づくり。 高槻の安満遺跡公園のような	淀川河川敷など駐車料金を徴収しても良いのでは？（資金源になる）
老若男女問わず、移動しやすいまちにする。 （各交通結節点までの移動）	バス、車、自転車等あらゆる選択肢が利用者目線で利用できる。	道路環境の整備 渋滞箇所の解消 交通空白地の解消
高齢化に加え、運転免許の返納者に対する交通手段が必要。	民間、市と共同で運営するバス・タクシーを考える。（有料） セッピー号の公共施設のみの枠を撤廃し、スーパー等にも停車（一部有料）	協議会のメンバーの人数 公的役割（セッピー号の場合）
人も自転車もバイクも車もトラックもすべてが安全・安心に通行できるようにしたい。	道を広くする 通行できる乗り物を限定する。	道がとても狭いのに、無理矢理に自転車通行の場を作っている。
鉄道、モノレールが通る街 ex. 南摂津駅⇔高槻市	予算の確保	人が集まるまで我慢。 20年後に取り戻す。
車が通れない道路が多い。	区画整理を思い切って行う。	

【8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見一覧】		
こんな将来にしたい	そのために必要なこと	配慮事項（懸念事項）
生活上の移動がスムーズに （買い物から市外への移動統等）	生活道路の整備（車いすを押しても歩ける動線も考える） 商業交通の改善 オンデマンド（老人が多く）もかみ合わせる。 セッピー号の路線の改善等の充実	
交通の利便性を良い地域にする。	地下鉄が必要	
都市公園を増やす。	土地確保	ボール遊び
公園に人（家族等）が来るようになれば草が生えにくい。	公園の大型遊具とする。	ゴミの対応
若い世代に来てほしい。	鳥飼東などの少子化を考えて、校区整理をする。 どの世代にも喜ばれる緑豊かな公園を作ってほしい。	
人が集まる、増加している街の特徴は何なのかリサーチ ⇒それを参考にしなくてはならない。	交通の便は第一	
出産・育児がオンリーワンであれば人が集まる。 ⇒お金がかかるらしい？		
子育てしやすいまち(子育て世代呼び込み)	景観が悪い(街並みがキタナイ印象)。工場しかない。 駅まで行くのが不便。行くところがないので吹田市、高槻市、守口市など他市の公園、商業施設に行くしかないのが現状 明石市みたいな、大胆な子育て政策をする。 今ある公園をキレイにする。 河川敷きを活かす。 大きな公園遊具を作り、キチンと管理する。 桜並木を作る。 スーパーにしても、子育て世代が多く集まってある地域は、オシャレで、見た目もキレイである。	高齢者意見ではなく、もっと子育て世代の意見を聞くべきである。

**【8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見一覧】**

こんな将来にしたい	そのために必要なこと	配慮事項（懸念事項）
若い人口を増やし活気のある市にする。 「住みたい町」への位置付けを図る。	18才までの教育費、医療費の無料化を図る。 現在あらゆる部門に手を打って成功している明石 泉 房穂市長の施策を参考してほしい。 「明石市の子ども政策」 今までにない大胆な政策をとる。	毎年予算取りが必要 その為にはその他の消費の見直しが必要
淀川河川公園を中心に自然と親しむ環境作り	鳥飼ワンドの樹木が左岸側と比べても大木すぎるので伐採してほしい。 川が見えにくいし、川の水が溢れた時、流されて鳥飼大橋を破壊しそう。 現在も除草の回数が少なすぎて、いつも草がぼうぼうです。	ワンドの自然がなくなる？！
鳥飼八町エリア（1丁目～2丁目）には、広大な田園地帯がある。 これは将来的にも残していくべきであると思う。 （一度田を宅地にしてしまうと二度と田に戻すことは難しい）	農業従事者が高齢化が進み担い手が不足している。 ↓ 担い手（貸出先等）の確保 農道の整備	現状ではコメの販売価格は 1反（300坪）から30kg×16袋 1袋7,500円×16袋≒123,000円
鳥飼八町エリア（1丁目、2丁目）は市街化調整区域であり、固定資産税は安い。 ↓ しかし事業を起こしにくい。 ⇒土地を有効活用したい。	田畑としての活用が主となり、収入面で成長が見込めない。	300坪当たり仮に123,000円程度の収入が手当てされてるのであれば、エリア内の協力も進むのではないかな。

**【8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見一覧】**

こんな将来にしたい	そのために必要なこと	配慮事項（懸念事項）
常に整備されている公園 しっかりとした公園の維持 子供とくらしたいと思う空間（子育てしやすい）	こまめに整備出来ないのか。	雑草で荒れている。 遊具が少ない。 広場は多いのにもったいない。 整備されていなければ遊ぶことができないので意味がない。 0～4歳くらいの子どもは遊具、砂場が無いと遊ぶことに困る（できることが無い） ポイ捨てについては、教育委員会、学校へ生徒への指導やプリント等対応してもらえないのか。ポイ捨てされている物はジュースやお菓子のゴミがほとんどである。
住みたい（少年期）と感じられるまちづくり	摂津市の市民として他市に対し優位となるものがある。	特徴ある摂津市にする為、何に集中するべきか。
住み良い（青年期） 住んで良かった（老齢期） と感じられるまちづくり	住み良い、住んで良かったと感じるのは地域風土だと思います。 風土をよくするためには住民の絆ではないでしょうか。 絆を深めるのは近隣のお付き合い。	環境風土を良くすれば自ずと自助・共助自治会加入率UP 老人クラブ会員増加
自慢出来る街並		
きれいな公園、川、水路		

【8月、9月の住民説明会にて頂いたご意見一覧】		
こんな将来にしたい	そのために必要なこと	配慮事項（懸念事項）
休耕地が多いので有効活用		
個別の商業店を集めた商業施設とする。	土地確保	
働く場を増やす。	企業を増す。	
中崎町のようなおしゃれな通り	おしゃれな通りに行くための格安又は一定料金で鳥飼地域を走り回れるバス等の交通機関	交通機関の見直しと地主の協力